

# 遺跡の発掘 Q&A

いせきってなあに？ はっくつはどうやるの？



かがみちゃん



とうまりがたごうす  
塔鉦型合子

(長野市小島・柳原遺跡群・奈良～平安時代)



もくぞうろっかくほうどう  
木造六角宝幢

(千曲市社宮司遺跡・平安時代 長野県宝)



ひとがっちゃん



ひとがたどき  
人形土器

(佐久市西一里塚遺跡群・弥生時代)



どうか どうたく  
銅戈・銅鐸

(中野市柳沢遺跡・弥生時代 国重要文化財)

長野県埋蔵文化財センター

# Q1 「埋蔵文化財」ってなに？

## A

私たちのご先祖が過去に生活して作りだされた様々なものの中、歴史的・文化的に価値の高いものを「文化財」と呼びます。その文化財の中でも、地中に埋まっている状態のものが「埋蔵文化財」です。埋蔵文化財を研究するのは「考古学」という分野ですが、考古学では「遺跡」と呼ばれています。

長野県埋蔵文化財センターは遺跡を発掘調査することにより、私たちのご先祖が残した生活の様子を未来へ伝える仕事をしています。



表面の耕作土をはぎ取ると<sup>たてあなたでものあと</sup>竪穴建物跡などのムラの跡が姿をあらわしました。(飯田市五郎田遺跡・弥生～平安時代)



竪穴建物跡からほぼ完全な形の土器が出土することもあります。(小諸市郷土遺跡・縄文時代)



洪水などの影響で、何度も埋まってしまった遺跡もあります。この遺跡では地表下約4mのところから縄文時代の竪穴建物跡などがみつかりました。(千曲市屋代遺跡群・縄文時代)



地表下約50cmのところから約3.5～5万年前の日本列島で最古級の石器群がみつかりました。(飯田市竹佐中原遺跡・旧石器時代)

# Q2 どんないんせきがあるの？

A

いんせきからは過去の人たちの活動の跡（「遺構」）と使った道具（「遺物」）がみつかります。「遺構」には、<sup>たてあな</sup>たてあな<sup>たてものあと</sup>たてものあと、<sup>ほったて</sup>ほったて<sup>ほらたてものあと</sup>ほらたてものあと、<sup>みぞ</sup>みぞ<sup>あと</sup>あと、<sup>こふん</sup>こふんなどがあり、「遺物」には<sup>どき</sup>どき<sup>せつ</sup>せつ器のほかに、<sup>きんぞく</sup>きんぞく<sup>せいひん</sup>せいひん金属製品や<sup>もくせいひん</sup>もくせいひん木製品などがあります。建物跡がみつかる<sup>しゅうらく</sup>集落遺跡だけではなく、古墳のような<sup>はか</sup>はか<sup>しろあと</sup>しろあと墓や<sup>すいでん</sup>すいでん<sup>はたけ</sup>はたけ城跡、<sup>せいさん</sup>せいさん水田や<sup>はたけ</sup>はたけ畑などの<sup>せいさん</sup>生産遺跡など、いろいろな種類の遺跡があります。

たてあな  
遺跡  
建物跡



竪穴建物は地面を掘り下げて柱を立ててその上に屋根をかけた半地下式の建物です。長野県では縄文時代から室町時代までつくられていました。また、地面は掘り下げずに柱を立ててつくる掘立柱建物もあります。倉庫などに使われたと考えられています。（佐久市・西近津遺跡群）



さいだい たて約18m、よこ約9.5mという日本最大級の弥生時代の竪穴建物跡もみつかっています。（佐久市西近津遺跡群・弥生時代）



復元された古代の農村 古墳時代地区（塩尻市平出遺跡・古墳時代 国史跡）

写真提供：平出博物館



溝跡



溝は水路として使われることもありますが、この溝は集落を区切る役割を果たしていたと考えられます。（佐久市芝宮遺跡群・奈良平安時代）

いろいろな穴



さいし 祭祀に使われた道具を捨てた穴（長野市石川条里遺跡・古墳時代）約8kgの土器破片や石製品（紡錘車※）、モモの種などが出土しました。

# いろいろ穴



クルミを貯蔵した穴  
(中野市栗林遺跡・縄文時代)



動物をつかまえるための落とし穴  
(南牧村矢出川第VIII遺跡・旧石器時代)

底にある穴は、落ちた動物の足をからませて動けなくするための逆茂木という棒を立てた跡だよ!



# 古墳



発掘により姿をあらわした横穴式石室  
(上田市陣馬塚古墳・古墳時代)



発掘する前の陣馬塚古墳

# お墓



骨が残ることは珍しいですが、この遺跡では墓穴から約300体の縄文人の骨が出土しました。(安曇野市北村遺跡・縄文時代)

貴重な品々が副葬されていたので、有力者の墓と考えられます。



穴を掘って木のひつぎを埋めたこの墓からは、緑釉陶器※1や八稜鏡※2などの貴重品を死者のために一緒に埋めたことがわかりました。これらは国重要文化財に指定されています。(塩尻市吉田川西遺跡・平安時代)



私は八稜鏡の妖精なんだよ!



## 水田や畑の跡



1区画が小さな水田跡が見つかりました。  
(長野市川田条里遺跡・古墳時代)



千曲川の洪水で覆われた砂層の下から畑のうねが見つかりました。  
(佐久市砂原遺跡・平安時代)

## 須恵器を焼いた窯の跡



古墳時代に朝鮮半島から伝来した須恵器を焼いた窯跡が3基見つかりました。  
(中野市清水山窯跡・奈良時代)

### 須恵器をつくる

ろくろを使う 粘土ひもを積み上げて形をつくり、台の回転を利用して形を整えていく。

完成!!

かた 堅くて 灰色が特徴よ。

1200℃ の窯

1000℃ 須恵器

800℃ 縄文土器 弥生土器

### 窯で焼く

斜面を利用して窯をつくり、窯の中を高温にして、焚口を開いて焼く。自然に冷めるのを待ち、取り出す。

1000℃以上の温度で焼く。

たくさん並べて焼くことができるんだね

燃料の残りがずや失敗品の須恵器が捨てられている場所。

5世紀ごろに伝わった新しい技術だ。今の茶碗づくりの始まりだ。

## 城跡

室町時代後半(戦国時代)には県内各地で多くの山城がつくられました。  
(長野市塩崎城見山砦・室町時代)



いぶつ  
出土した遺物の数々



ながみね  
縄文土器 (茅野市長峰遺跡・縄文時代)



にしちがっ  
弥生土器 (佐久市西近津遺跡群・弥生時代)



せきぞく いしまじ こやまでらくぼ  
石鏃と石匙 (佐久穂町小山寺窪遺跡・縄文時代)

石匙はスプーン  
ではなく、ナイフ  
のような使い方  
をしていました。



ほじき すえき  
土師器と須恵器  
(中野市川久保遺跡・古墳時代)



てつくりょう  
左：鉄釧  
てつ  
(鉄製の腕飾り)  
うでかざ  
下：鉄剣  
てつけん

にしちりづか  
(佐久市西一里塚遺跡群・弥生時代)



くだたま まがたま こだま  
管玉・勾玉・ガラス小玉  
おにがま  
(飯田市鬼釜古墳・古墳時代)

まがちゃん たまちゃん



とりがたもくせいひん  
左：鳥形木製品  
いしかわじょうり  
(長野市石川条里遺跡・古墳時代)



こしか  
右：木製の腰掛け  
えのきだ  
(長野市榎田遺跡・古墳時代)

# Q3

## どこに遺跡があるのか、なぜわかるの？ 遺跡は、何か所あるの？

### A

市町村では、遺跡の範囲を示した地図を作成しています。（「遺跡地図」と言います。）  
遺跡の範囲内で土木工事を行う場合には市町村へ届けを出して指示に従う必要があります。ただし、地面の下のことですから、すべてがわかっているわけではないので、遺跡があるかないかを判断する試掘調査や遺跡の広がりを知るための確認調査を行うなど、市町村では常に新しい情報に基づいて遺跡地図を見直しています。

遺跡は、全国で約46万か所、長野県内では約1万4千か所あります。長野県は全国8位という遺跡の多い県です。



塩崎遺跡群



石川条里遺跡



長野市の遺跡地図は、市のホームページで見ることができます。（<https://www2.wagmap.jp/nagano/PositionSelect?mid=7>）

ちょっと  
気になる！

## ど ぐう ぼにわ 土偶と埴輪は何かちがうの？

土偶は縄文時代のまじないに使われ、女性をあらわしたものが多ですが、埴輪は古墳時代に古墳の一部として並べられたもので、壺の形や円筒形のものが中心です。人物や動物の形をしたものは、県内ではあまりみられません。



土 偶



埴 輪

左：縄文のビーナス（茅野市棚畑遺跡 国宝）  
右：仮面の女神（茅野市中ツ原遺跡 国宝）

左：人物埴輪 右：馬形埴輪  
（佐久市北西の久保古墳群 佐久市有形文化財）

写真提供：尖石縄文考古館

写真提供：佐久市教育委員会

# Q4

## なぜ遺跡を発掘調査するの？

### A

発掘調査には研究のための調査、大切な遺跡<sup>ほそん せいび</sup>を保存・整備するために行う調査、道路や建物等の土木工事<sup>こわ</sup>で壊されてしまう遺跡<sup>きろく</sup>の記録を残すための調査などがあります。

遺跡は壊してしまうと二度と元には戻りません。過去の人たちが残した貴重な埋蔵文化財は工事の前にきちんと発掘調査を行い、その記録を現在の人たちにはもちろん、未来の人たちにも伝えていく責任が私たちにはあるのです。

現在行われている発掘調査の多くがこの工事によって壊されてしまう遺跡の記録を残すために行うもので、長野県埋蔵文化財センターが行う発掘調査もこれにあたります。



上信越自動車道建設前の調査（佐久市芝宮遺跡群）  
古墳時代後期から平安時代の竪穴建物跡が約250軒みついています。



千曲川の堤防建設前の調査（中野市千田遺跡）  
縄文時代中期の大きな集落跡がみつかりました。



国営アルプスあずみの公園建設前の調査  
（大町市山の神遺跡）  
縄文時代早期に石を使った祭祀の場所がつくられていました。



北陸新幹線建設前の調査（長野市篠ノ井遺跡群）  
円形周溝墓<sup>えんけいしゅうこうぼ</sup>という弥生時代の墓が50基以上もみつかりました。

Q5

# 私も発掘したいけど、勝手に掘っちゃってもいいの？

A

勝手に掘ることは文化財保護法ぶんかざいほごほうという法律により禁止されています。県・市町村以外の個人や大学等の組織が発掘調査をするには、発掘届はっくつどけを遺跡のある市町村を通じて県教育委員会へ提出して、指示しじを受けなくてはなりません。県教育委員会では遺跡をきちんと発掘調査できるか、記録がしっかりと残せるかなどを調べて認めるかどうか判断します。長野県埋蔵文化財センターでも発掘届を出した上で調査しています。また、出土した遺物については、その遺跡があるところの警察署けいさつしょへ届けを出さなくてはなりません。

Q6

# むかしの人が掘った跡だってどうしてわかるの？

A

表面ひょうめんの土をはぎとり、むかしの人たちが生活していた地面まで下げて、少しずつ土をけずっていくと、土の色や性質せいしつが変わるところがあります。これを手がかりにたてあなたのもの竪穴建物の跡などを探していきます。



① ジョレンという道具を使って土を少しずつけずっていきます。  
(下諏訪町ふじ塚遺跡・縄文時代)



② 両刃鎌りょうぼがまという道具でさらに慎重にけずっていくと丸い形をした穴であることがわかりました。  
(下諏訪町ふじ塚遺跡)



③ 竪穴建物跡うしけと考えられる黒い土で埋まった四角い形が見えてきました。  
(朝日村氏神遺跡・平安時代)



④ 黒い土を掘り下げていくと平安時代の竪穴建物跡であることがわかりました。  
(朝日村氏神遺跡)

# Q7 発掘調査はどうやってやるの？

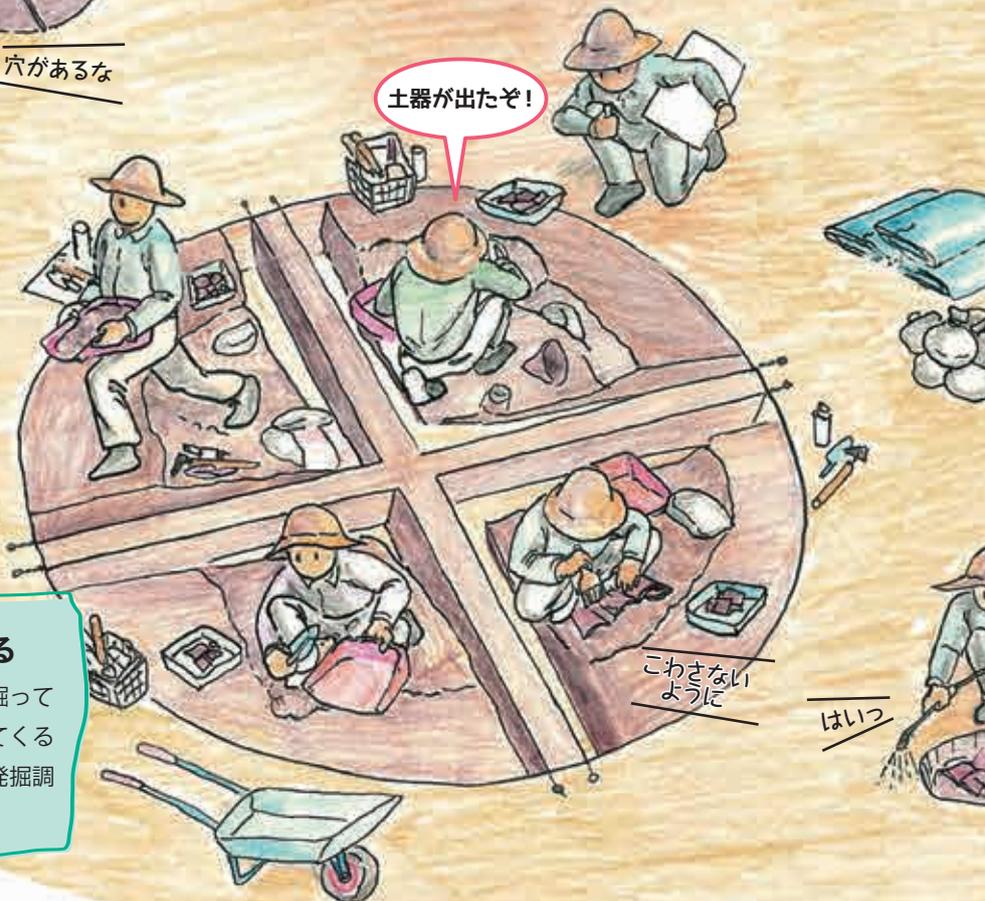
## ② 穴や建物の跡を探す

表面をきれいに削り、土の色や硬さのちがいに注意して、昔の跡をみつけていきます



## ③ 人の手で掘り下げる

穴や建物の跡をていねいに掘っていきます。土器や石器が出てくるようすもよく観察します。発掘調査の中心となる作業です。



# A

たてあなたでものあと てじゆん  
豎穴建物跡を発掘調査する手順をイラストと写真で紹介します。遺跡の種類によっては多少違うところもありますが、基本的な作業手順は同じです。

## ①機械で地面を掘る

昔の穴や建物の跡が残っている深さまで、機械を使って掘っていきます。

もう少し掘ってください



たくさんの方が協力してすすめていくのね!

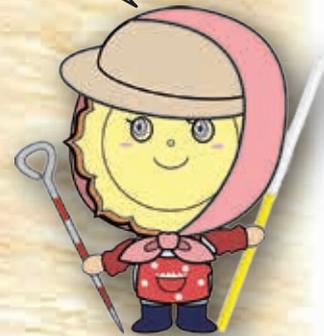
## ④記録を残す

出てきた土器や石器、掘り上がった穴や建物の跡を、測量して図面を描いたり、写真をとって記録します。遺跡のようすを伝える大事な資料となります。

50cmだよ

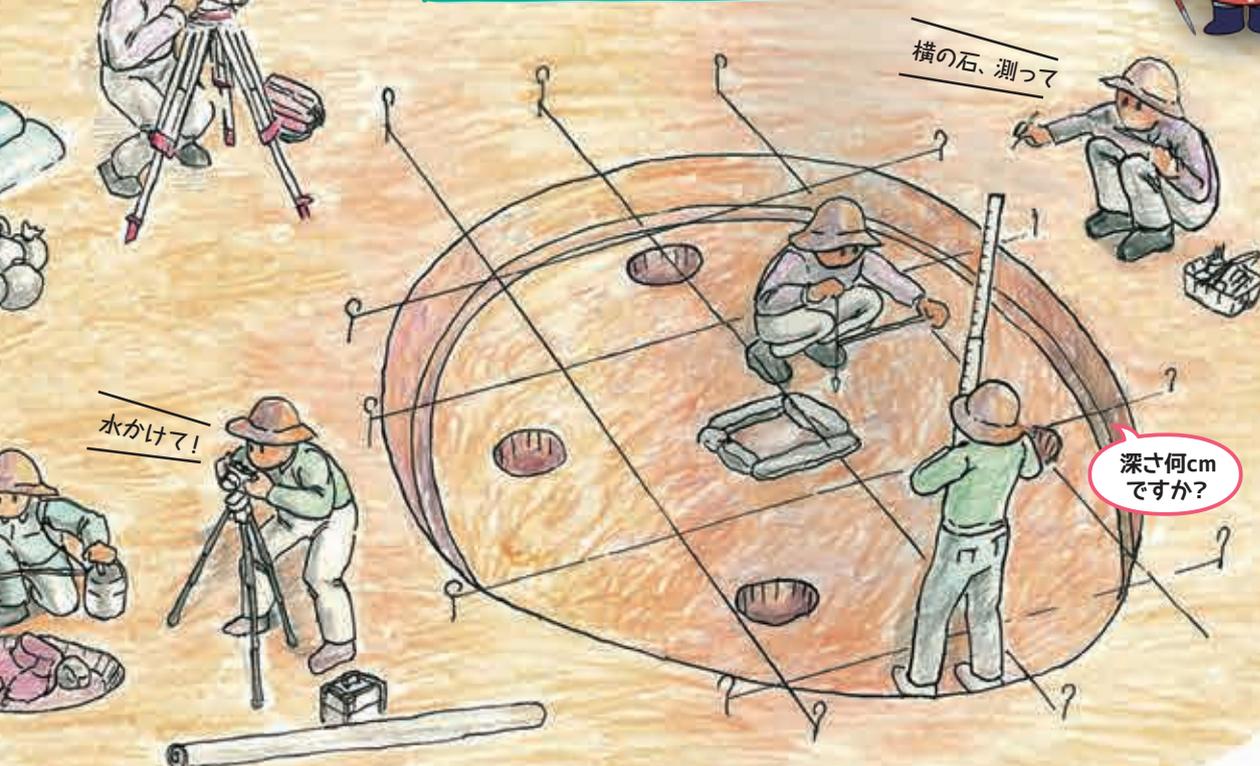


横の石、測って



水かけて!

深さ何cmですか?





表面の土は重機を使ってはいきます。  
こやま かみ  
 (佐久市小山の神B遺跡・縄文時代)



りょう がま  
 両刃鎌を使って遺構の形を探していきます。  
あさかわせんじょうち  
 (長野市浅川扇状地遺跡群・弥生～平安時代)



いしよく たてあなたのものあと  
 移植ゴテなどを使って竪穴建物跡を掘り下げていきます。  
しおさき  
 (長野市塩崎遺跡群・弥生時代)



しゃしんさつえい  
 写真撮影をして記録に残します。  
 (長野市浅川扇状地遺跡群)



ドローンなどを使って遺跡の全景を撮影します。  
ぜんけい  
さくこうじいしはら  
 (飯田市座光寺石原遺跡・古墳時代)



いこう  
 遺構を図面に記録していきます。  
きたうら  
 (佐久市北裏遺跡群・弥生時代)

## Q8 発掘が終わったらどうするの？

A

発掘調査には、壊れてなくなってしまう遺跡を記録として後世へ残すという使命があります。そのため、記録された調査成果（図面や写真、土器や石器など）を整理し、調査報告書としてまとめます。遺跡はなくなってしまうかもしれませんが、記録として保存・公開して、未来へ残してつなげていくのです。



遺物は洗って土を取りのぞきます。



土器の破片を付けて、たりない部分は石こうで復元します。



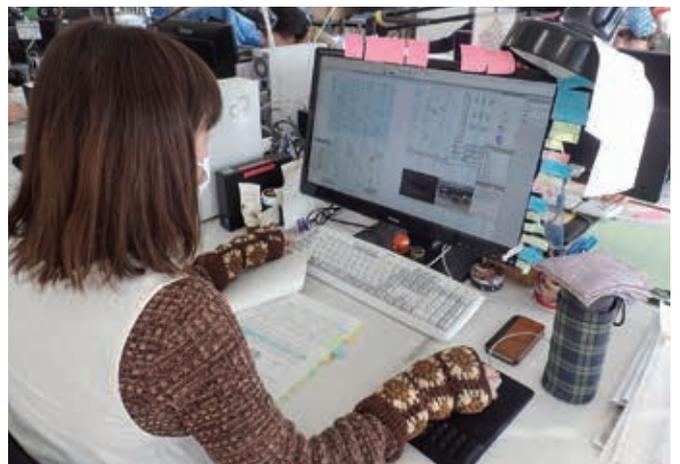
土器の形を図にしています。



遺物の写真撮影も行います。



現場で作成した図面を室内で整理します。



報告書を作成するためにパソコンで編集していきます。

Q9

# 長野県埋蔵文化財センターのことをもっと教えて!

A

長野県埋蔵文化財センターは、昭和57年(1982年)に設立され、いっばんざいだんほうじんながのけん一般財団法人長野県文化振興事業団ぶんか しんこう じぎょうだんの一員として、県内各地の埋蔵文化財の調査・研究のほか、展示会・講演会や「夏休み考古学教室」の開催、遺跡情報誌『信州の遺跡』の発行、各遺跡の現地説明会など埋蔵文化財の普及活動ふきゅうなどを行っています。



「掘るしんinたつの2021」の展示会



「掘るしんinながの2020」の講演会

☆当センターでは、「掘るしん」という名称めいしょうで、毎年県内各地で展示会や講演会を行っています。



「夏休み考古学教室2021」

夏休み期間中の2日間、当センターを公開して行っています。



遺跡情報誌『信州の遺跡』

当センターのことだけではなく、県内で行われている発掘情報などをお伝えしています。



現地説明会 (長野市長谷鶴前遺跡群)  
は せ つ る さ き



現地説明会 (朝日村山鳥場遺跡)  
やまとりば



出前授業  
職員が学校に出向いて行きます。



発掘体験  
実際に発掘調査を体験してもらいます。



職場体験  
発掘調査だけではなく整理作業も体験します。



遺跡解説板 (千曲市<sup>しやくうじ</sup>社宮寺遺跡、東條<sup>ひがしじょう</sup>遺跡)  
他にも上田市<sup>じんばづか</sup>陣馬塚古墳、大町市<sup>やまかみ</sup>山の神遺跡、伊那市<sup>いたかとう</sup>高遠  
若宮武家屋敷遺跡に設置しています。

長野県埋蔵文化財センターで発掘調査した遺物は、整理作業が終わって報告書を刊行した後は、地元の市町村が長野県立歴史館<sup>い かん</sup>に移管されることになっています。

なお整理作業中の遺物の一部は、当センターの展示室で見ることができます。



展示室は平日のみの開館となっています。定期的に展示替えもしています。入場無料。



発掘調査報告書 将来にわたり遺跡を記録するために作成するもので、報告書の刊行をもって発掘調査は終了します。



まいぶん博士

## 一般財団法人長野県文化振興事業団長野県埋蔵文化財センター

〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田 963-4  
 TEL.026-293-5926 FAX.026-293-8157  
 e-mail : maibun@naganobunka.or.jp  
<https://naganomaibun.or.jp/>



ホームページ



メール